今年の１１月１日で１０歳になるはずだったのですが，４月２９日に突然体調を崩してしまいました。原因はよく分からず，少しずつぐったりしたようになっていきました。

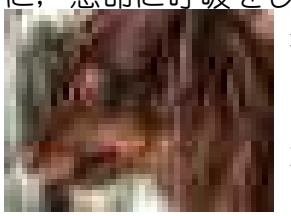
かかりつけの病院に連れて行きたかったのですが，１０連休で病院はお休みでした。そこで，福岡市内にある「夜間救急動物病院」に連れて行くことにしました。そこは，夜９時から次の日の朝５時まで診てくれるところでした。

そして，病院に奥さんと一緒に向かいました。着いたのは９時前だったのですが，すぐに診てもらうことができました。そのころは，もう意識はほとんどない状態でした。点滴を打ってもらい，様子を見ることになりました。

次の日の４月３０日の朝８時まで診てもらい，その後市内の別の病院に移りました。容態は回復せず，意識はない状態でしたが，苦しいながらも懸命に呼吸をしていました。それから１０時間後の夜の７時ごろ，病院の先生から「これ以上は無理です。」と言われました。そこで家に連れて帰ることにしました。「もしかしたら，帰る途中で息が絶えるかもしれません。」と言われましたが，それでも家に連れて帰りたいと思いました。

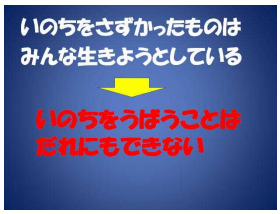
何とか家に戻り，静かに横に寝かせました。その日は，そばでずっと過ごしました。

次の日の５月１日の朝を迎えました。もうダメだと言われていましたが。こんなふうに，懸命に呼吸をしていました。朝から，「〇〇」ちゃんが大好きだったお婆ちゃんも



来てくれました。もしかしたら「さよなら」を言いたかったのかもしれません。

苦しかったんだろうけれど，意識はなかったんだろうけれど，命がある限り，懸命に頑張っているように見えました。そして，午後１時ごろ，安らかに息を引き取りました。



今お話しした２つのことから，校長先生が，みなさんに伝えたいことは，この世界に，命を授かったものは，その時からみんな懸命に生きようとしているということです。残念ながら病気や事故などで，自分の思いに反して命を失う人はいます。そういう人たちも，おそらく最後の時まで，生きることを諦めてはいないと思います。

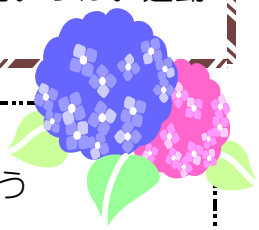
だから，誰にもいじめや暴力で，人の命を奪うようなことをすることはできないのです。もちろん，自分で自分の命を奪うこともしてほしくありません。

命を授かった人は皆同じように生きる権利があります。ですから，みんなが生きる喜びを感じながら最後まで生きることができるように，お互いに思い合い助け合っていきながら，自分や周りの人たちの命を大切にして，共に一生懸命に生きてほしいと願っています。

一人に一つしかない命だということを，よーく心に刻んでおいてください。

６月行事予定

１日（土）いのちを見つめる強調月間
３日（月）体重測定（３，６年）
４日（火）新体力テスト
５日（水）体重測定（２，５年）
　　委員会活動　代表委員会
６日（木）体重測定（１，４年）
７日（金）プール清掃（５，６年）
１８日（火）プール開き　ＡＬＴ来校
２１日（金）耳鼻科健診（１，３，５年）
２４日（月）学校開放週間(～２８日)
２５日（火）音楽鑑賞体験教室（５年）
２７日（木）授業参観(道徳)　懇談会
　　救急救命講座
２８日（金）平和集会　花いっぱい運動



６月の生活のめあて
室内(学校や公民館)では静かにすごそう
・廊下は静かに右側を歩こう

６月の保健のめあて
歯をていねいにみがこう

６月の給食のめあて
よくかんで食べよう